

鍵盤上の作曲実践法としての通奏低音

-18世紀ドイツ、イタリアの理論を中心に-

バロックから19世紀までの鍵盤楽器音楽の作曲・演奏論、記譜論について研究されてこられた三島郁氏とともに、
作曲実践法としての通奏低音について、再考する時間を持ちたいと思います。
本例会はどなた様でもご参加いただけます。是非ふるってご参加ください。

講師：三島 郁（みしま かおる）〔日本チェンバロ協会会員〕

東京学芸大学大学院修士課程修了後、ケルン大学に留学、大阪大学大学院文学研究科で音楽学専攻、博士課程修了。博士（文学）。
専門は西洋バロック期から19世紀までの鍵盤楽器音楽の作曲・演奏論、記譜論。チェンバロ、通奏低音を亀谷喜久子、岩淵恵美子、
C. チェラジの各氏に師事。国内外でバロック期の音楽やチェンバロに関するレクチャーやコンサートを企画・開催。
日本古楽アカデミー、メンバー。現在、京都市立芸術大学、同志社女子大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、甲南女子大学、
神戸山手女子高等学校、各非常勤講師。

2019年 8月 9日（金）19:00-20:30（18:40開場）

参加費 ◇一般 2,000円
◇一般学生 1,000円
◇日本チェンバロ協会サポーター 1,000円
◇日本チェンバロ協会会員・学生会員 無料
☆当日受付にて会員証、学生証をご提示ください。

Salon de ぷりんしばる

大阪市西区土佐堀 1-6-5 ニロビル 2F
アクセス：大阪メトロ 四ツ橋線「肥後橋駅」
3番出口より西へ徒歩4分



ご予約・お問い合わせ
日本チェンバロ協会 例会係

cembalo_events@yahoo.co.jp
☆メール件名に「8/9 関西例会」とご記入ください。
Tel.050-3575-1282（11:00-21:00）



日本チェンバロ協会
Japan Harpsichord Society

<https://japanharpsichordsociety.jimdo.com>